

# 「治療と仕事の両立支援について」

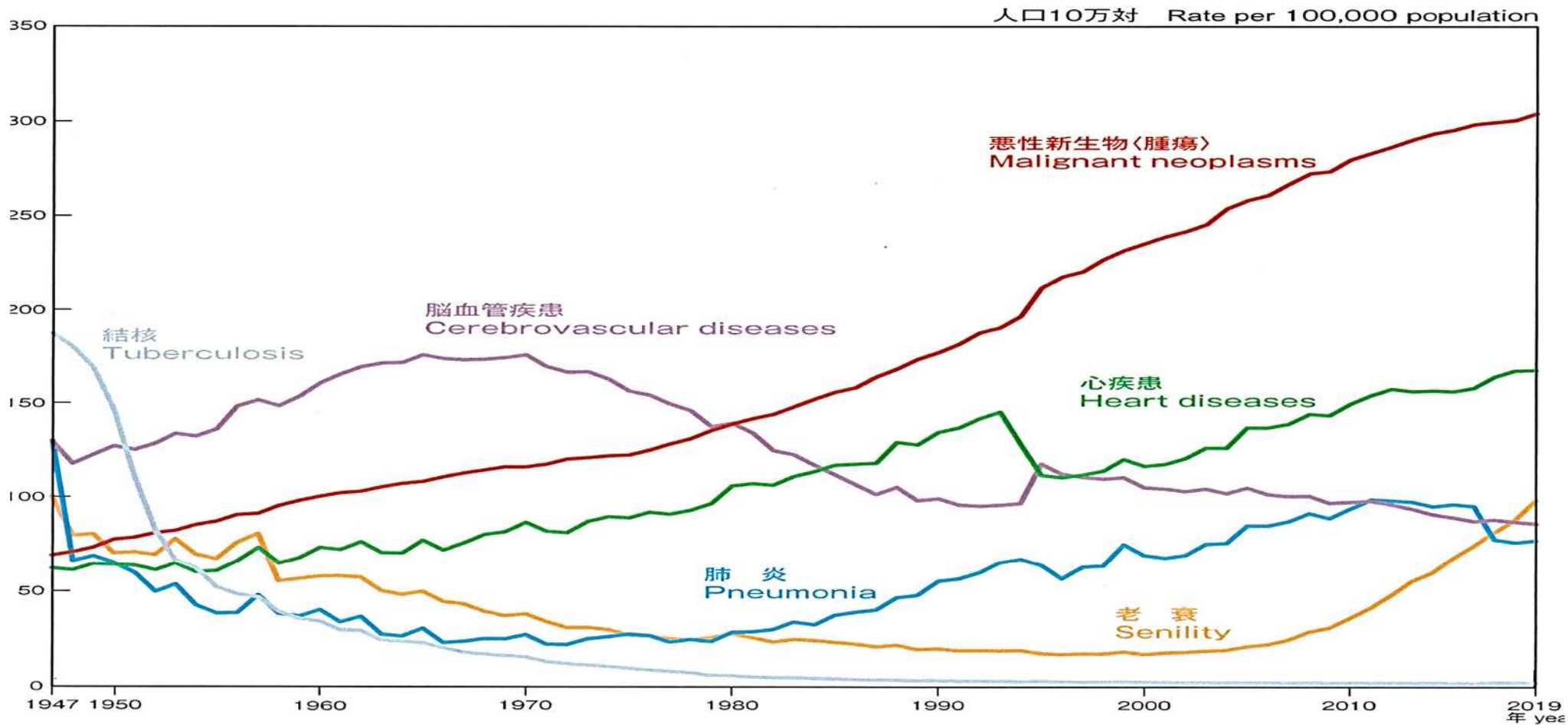
滋賀産業保健総合支援センター 長澤孝子

「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」（厚生労働省）  
に基づく企業の取り組みを支援しています

- 1 疾病を抱える労働者の状況
- 2 地域両立支援推進チーム（オール滋賀）  
設置による両立支援の推進
- 3 「両立支援コーディネーター」の養成
- 4 治療と仕事の両立支援助成金

# 1 疾病を抱える労働者の状況

# 主要死因別死亡率年次推移（公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計2021」）



- ◆ 第2次世界大戦後、結核、肺炎などの感染症の死亡率は減少し、がん、心疾患などの生活習慣病の死亡率が増加。
- ◆ がんは1981年から死因の第1位で、最近では総死亡の約3割を占める。

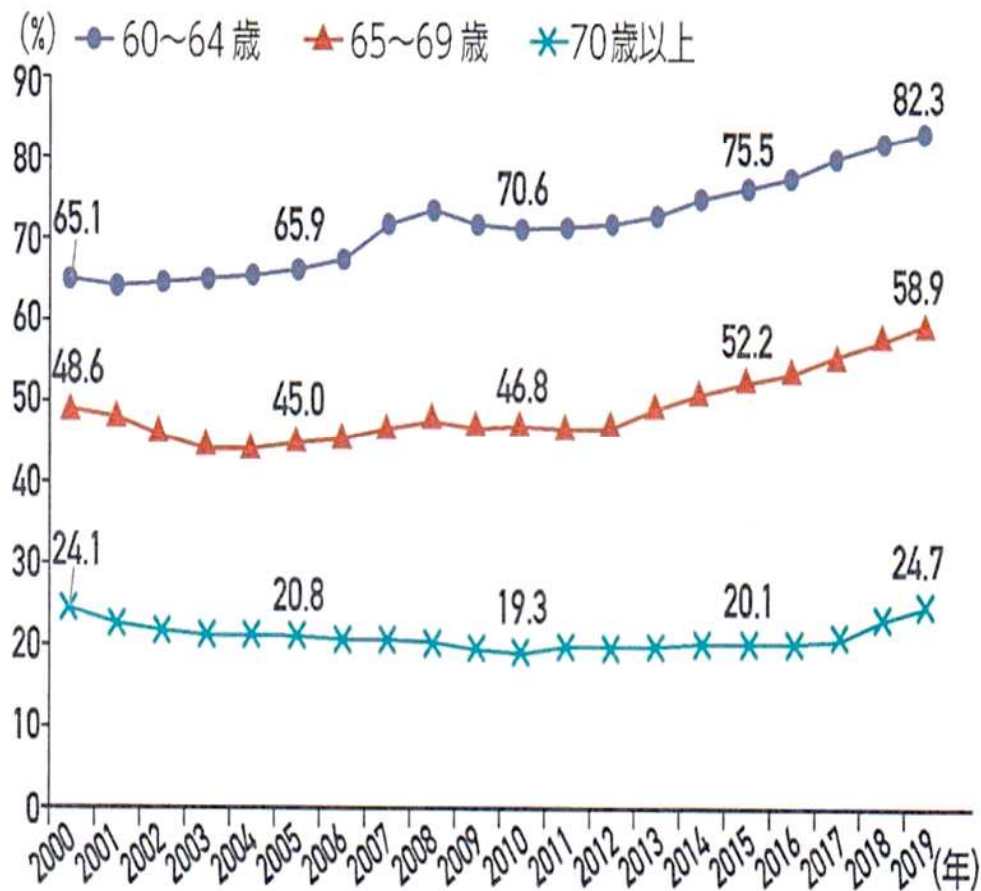
## 年齢階級別がん罹患リスク（公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計2021」）

部位 Site	性別 Sex	歳 age ～39	～49	～59	～69	～79	生涯 Life time	何人に1人が
全がん All cancers C00-C96	男性 Males	1.2	2.7	7.8	21.9	43.6	65.5	2
	女性 Females	2.3	6.3	12.4	21.2	32.8	50.2	2
食道 Esophagus C15	男性 Males	0.0	0.0	0.3	1.0	1.9	2.4	41
	女性 Females	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	194
★胃 Stomach C16	男性 Males	0.1	0.2	0.9	3.2	7.0	10.7	9
	女性 Females	0.1	0.2	0.5	1.3	2.7	4.9	20
結腸 Colon C18	男性 Males	0.1	0.2	0.8	2.2	4.4	6.5	15
	女性 Females	0.1	0.2	0.7	1.6	3.2	5.9	17
直腸 Rectum C19-C20	男性 Males	0.1	0.2	0.7	1.8	3.0	3.8	26
	女性 Females	0.0	0.2	0.5	0.9	1.5	2.2	45
★大腸 Colon/rectum C18-C20	男性 Males	0.1	0.5	1.5	4.0	7.3	10.3	10
	女性 Females	0.1	0.4	1.1	2.5	4.7	8.1	12
肝臓 Liver C22	男性 Males	0.0	0.1	0.3	1.0	2.0	3.2	31
	女性 Females	0.0	0.0	0.1	0.3	0.7	1.6	62
胆のう・胆管 Gallbladder and bile ducts C23-C24	男性 Males	0.0	0.0	0.1	0.3	0.8	1.5	65
	女性 Females	0.0	0.0	0.1	0.2	0.5	1.4	72
膵臓 Pancreas C25	男性 Males	0.0	0.1	0.3	0.9	1.7	2.6	39
	女性 Females	0.0	0.1	0.2	0.6	1.2	2.5	41
★肺 Lung, trachea C33-C34	男性 Males	0.0	0.2	0.8	2.8	6.4	10.1	10
	女性 Females	0.0	0.2	0.5	1.5	3.0	5.0	20
★乳房(女性) Breast(Females) C50	女性 Females	0.5	2.5	4.6	6.9	8.9	10.6	9
子宮 Uterus C53-C55	女性 Females	0.4	0.9	1.8	2.4	2.9	3.3	30
子宮頸部 Cervix uteri C53	女性 Females	0.3	0.6	0.8	1.0	1.2	1.3	75
子宮体部 Corpus uteri C54	女性 Females	0.1	0.4	1.0	1.4	1.7	2.0	51
卵巣 Ovary C56	女性 Females	0.2	0.5	0.8	1.1	1.4	1.6	62
★前立腺 Prostate C61	男性 Males	0.0	0.0	0.5	2.8	7.2	10.8	9
悪性リンパ腫 Malignant lymphom C81-C85 C96	男性 Males	0.1	0.2	0.4	0.9	1.6	2.3	44
	女性 Females	0.1	0.2	0.4	0.8	1.3	1.9	52
白血病 Leukemia C91-C95	男性 Males	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8	1.0	99
	女性 Females	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.7	135

- ◆ 男性、女性ともに、おおよそ2人に1人が一生のうちにがんと診断される（2017年の罹患・死亡データに基づく）。
- ◆ 男性ではおおよそ4人に1人、女性ではおおよそ6人に1人ががんで死亡する（2019年の死亡データに基づく）★。

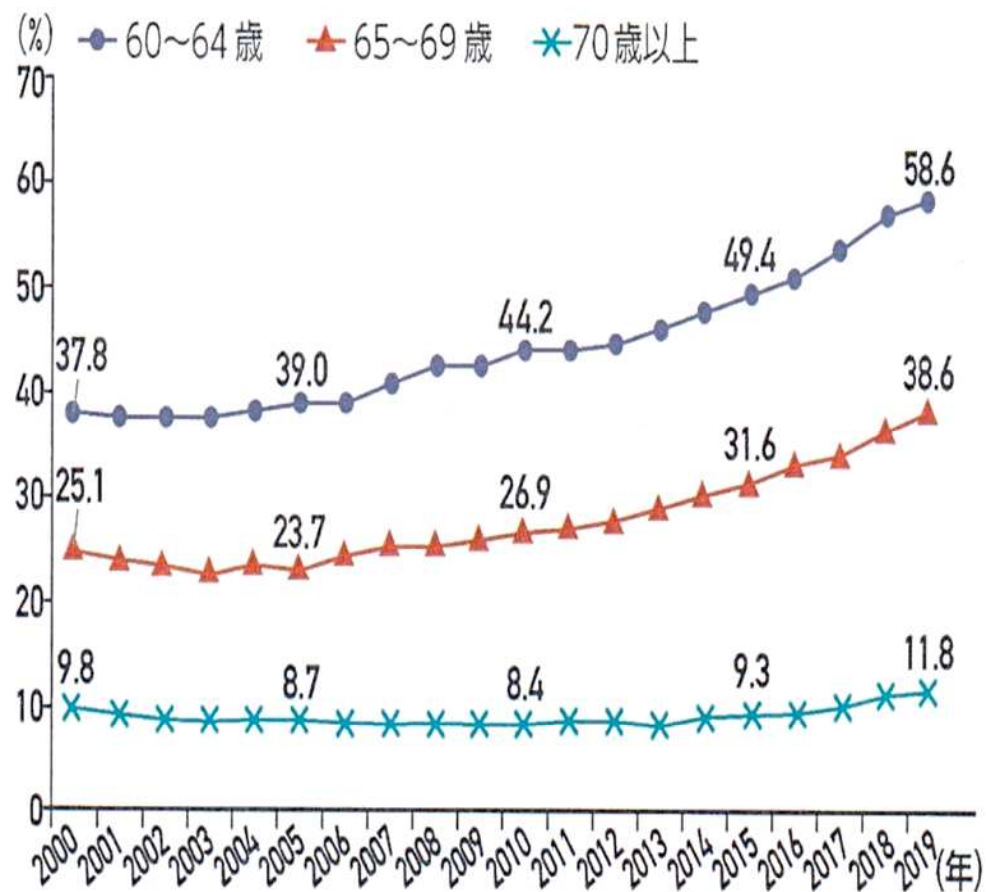


図表1 男性の就業率の推移



出所：総務省「労働力調査」より作成

図表2 女性の就業率の推移



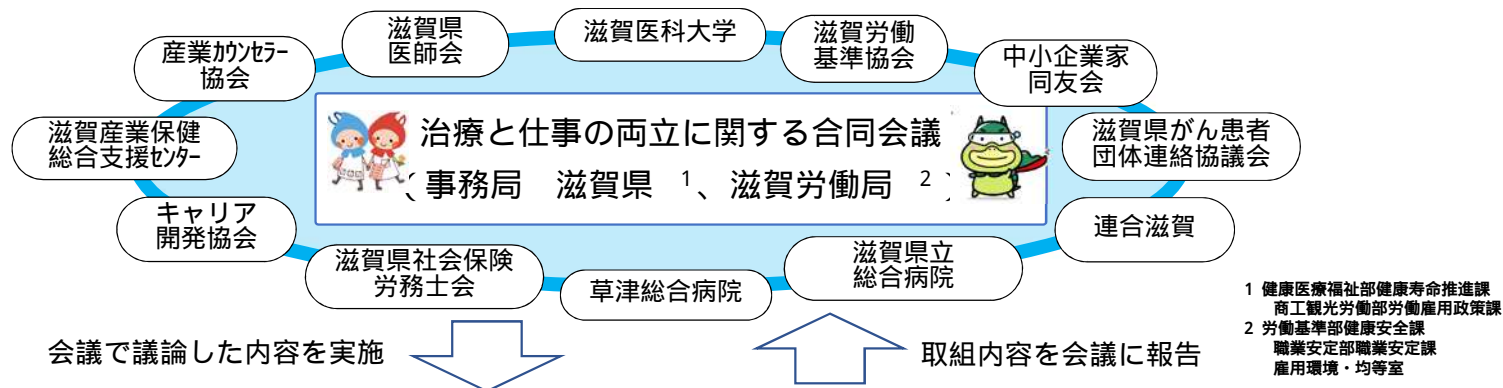
出所：総務省「労働力調査」より作成

## 2 地域両立支援推進チーム (オール滋賀)

設置による両立支援の推進

## 実施体制

滋賀労働局は滋賀県とともに、治療と仕事の両立に関する合同会議を設置し、事業者団体、労働組合、医療機関や学識経験者等と連携し、オール滋賀で推進しています。



### 相談先一覧表の作成・公表

### 患者向け・事業者向けのリーフレットの作成・配布

### 両立支援促進員（滋賀産業保健総合支援センターに配置）による出張相談

令和3年9月現在がん拠点病院8機関に相談窓口設置

### 事業者と医療機関との連携に必要なツールの活用促進

### 両立支援に係る助成金の活用促進

#### （参考）抱えている課題

どこに相談して良いかわからない  
どうやって取り組めば良いかわからない

会社の実情にあった両立支援の方法を一緒に考えてほしい

どんな仕事をしているかわからない（医療機関）  
どんな仕事ならできるかわからない（会社）

両立支援に取り組む費用が無い



## 産業保健総合支援センターによる支援（両立支援）

### 全国の産業保健総合支援センター等では、平成28年度よりガイドラインに基づく企業の取組を支援するため以下の各種支援を実施

※産業保健総合支援センターとは、各都道府県に設置されており、事業場で産業保健活動に携わる事業主、人事労務担当者、産業医、産業保健スタッフ等に対して、研修や専門的な相談への対応等を行う支援機関のこと。

- ① 治療と職業生活の両立支援に関するセミナー、専門的研修を開催**  
事業者に対する啓発セミナー、産業医、産業保健スタッフ、人事労務担当者に対する専門的研修を開催
- ② 両立支援に取り組む事業場への訪問指導**  
専門家（両立支援促進員）が企業を訪問し、治療と職業生活の両立支援に関する制度導入や教育などについて、具体的な支援を実施
- ③ 関係者からの相談対応**  
治療と職業生活の両立支援に関する関係者からの相談に対応
- ④ 患者（労働者）と事業者との間の個別調整支援**  
専門家（両立支援促進員）が、患者（労働者）の就労継続や職場復帰の支援に関する事業場との個別調整について支援を実施

## 両立支援出張相談窓口開設病院（滋賀産保センター協定病院）

開設病院	相談日	相談時間	連絡先
滋賀県立総合病院	毎月 第4火曜日	13:30 ～16:30	守山市守山5丁目4-30 077-582-8141
草津総合病院	毎月 第1水曜日	13:00 ～15:00	草津市矢橋町1660 077-516-2511
済生会滋賀県病院	毎月 第2火曜日	13:00 ～15:00	栗東市大橋2-4-1 077-552-1221（代表）
大津赤十字病院	毎月 第3火曜日	14:00 ～16:00	大津市長等1-1-35 077-522-4131（代表）
彦根市立病院	毎月 第3水曜日	13:30 ～15:30	彦根市八坂町1882 0749-22-6050
市立長浜病院	毎月 第2水曜日	13:00 ～15:00	長浜市大成亥町313 0749-68-2354
東近江総合医療センター	毎月 第3木曜日	14:00 ～16:00	東近江市五智町255 0748-22-3030（代表）
公立甲賀病院	毎月 第1木曜日	14:00 ～16:00	甲賀市水口町松尾1256 0748-65-1614

### 3 「両立支援コーディネーター」 の養成



## 「両立支援コーディネーター」の養成 ①

### ガイドラインに基づく両立支援

企業の関係者

医療機関の関係者

事業者や労働者を支援する支援機関等

それぞれの立場における支援の実施 + 関係者との連携

→ 支援対象者の症状や業務内容に応じた、より適切な両立支援の実施が可能

働き方改革実行計画（平成29年3月28日 働き方改革実現会議決定）抜粋

- 治療と仕事の両立に向けて、主治医、会社・産業医と、患者に寄り添う両立支援コーディネーターのトライアングル型のサポート体制を構築する。
- 両立支援コーディネーターは、主治医と会社の連携の中核となり、患者に寄り添いながら継続的に相談支援を行いつつ、個々の患者ごとの治療・仕事の両立に向けたプランの作成支援などを担う。
- 両立支援コーディネーターには、医療や心理学、労働関係法令や労務管理に関する知識を身に付け、患者、主治医、会社などのコミュニケーションのハブとして機能することが期待され、こうした人材を効果的に育成・配置し、全国の病院や職場で両立支援が可能となることを目指す。

## 「両立支援コーディネーター」の養成 ②

平成30年3月30日付け基安発0303第1号働き方改革実行計画を踏まえた両立支援コーディネーターの養成について

### 両立支援コーディネーター

**担い手：** 企業の人事労務担当者や産業保健スタッフ・医療機関の医療従事者・支援機関等

**機能：** 支援対象者に寄り添いながら継続的な相談支援等を行うこと

**役割：** それぞれの立場における支援の実施 及び 関係者との連携・調整

支援対象者の同意を前提として、治療に関する情報や業務に関する情報等を得て、支援対象者の治療や業務の状況に応じた必要な配慮等の情報を整理して本人に提供する 等



※ 関係者との調整を行うに当たっては、両立支援コーディネーターは、事業場に対して支援対象者の代理で交渉行為を行うものではないので、留意する必要がある。



# 4 治療と仕事の両立支援助成金

## 新 治療と仕事の両立支援助成金（労働者健康安全機構HP）

令和3年度から申請要件を見直し、利用し易くなりました

ご利用予定の助成金をお選びください。

新

治療と仕事の両立支援助成金

環境整備コース

制度活用コース

### 【環境整備コース】

事業者が、新たに両立支援制度の導入（勤務制度や休暇制度など）を行い、かつ、新たに両立支援コーディネーターを配置した場合に助成します。

1企業当たり、200,000円を1回限り助成します。

### 【制度活用コース】

事業者が、配置している両立支援コーディネーターを活用し、両立支援制度を用いた両立支援プランを策定し、実際に適用した場合に助成します。

1企業当たり、有期雇用契約者1回、無期雇用契約者各1回限り200,000円を助成します。

# 最後に

- 健康習慣で、心臓病、脳血管疾患のみならず、がんになるリスクは約40%下がります。また、ウイルスや細菌への感染が原因となるがんが、がん全体の約20%あり、がん検診は大切です
- しかしどれだけ気をつけていても、交通事故や自然災害のように、誰もががんになり、心臓・脳血管の発作に襲われるリスクがあります。まずは会社としての備え（社内教育、制度・相談体制導入等）を行い、実際に、病気の治療をしながら働く従業員から申し出があれば、安心・安全を守るため、医療機関等との連携が速やかに行えるよう、早めに滋賀産保の両立支援サービス（無料）をご利用下さい
- 産業医等のいない50人未満事業場には、毎年の健康診断の後、慢性疾患等ハイリスクの方、メンタル不調の方等との個別健康相談（無料）を実施していますのでご利用下さい